



高知県理学療法士協会ニュース

No.174 2022・6・20 発行 公益社団法人 高知県理学療法士協会

理学療法士のidentityと職域

会長 宮本謙三

新型コロナウイルス感染症の拡大から2年半が過ぎようとしている。SNSの拡張やデジタル社会の到来が相まって、感染症が終息した社会は以前とは変わった景色になるに違いない。医療や介護の世界にも様々な影響が出ており、先日出席した県の保健福祉に関する会議でも介護人材の確保が話題になった。

感染の拡大防止の観点から外国人の来日が制限され、介護人材の確保が極めて困難な状況にある。少子化の中で多くの産業が労働力不足に悩まされており、単に感染症の影響による一時的なものではないだろう。こうした現状に奨学金制度の拡充をはじめ種々の対応策が練られているが、「介護補助人材」の育成なる発想が盛り込まれており、会議において少し意見を述べた。国家資格を有する介護専門職が確保できないから、簡単な研修で従事してもらえれば代替人材を確保しようと考えているのだろう。現状に即応しないといけない点は十分に理解できるが、専門職のidentityを軽んずる発想は若者の専門職への志を低減させてしまいそうでならない。安易な代替人材の育成は関係職能団体の意見も聞きながら慎重に検討してほしい旨を話した。

翻って、我々理学療法士には確固たるidentityが育まれているだろうか。理学療法士の確保が難しいという時代は過ぎ去っており、代替人材を養成しようという話は今はもうない。しかし、理学療法士でなければならぬという社会的評価を得る努力を怠ると、周辺にある様々な代替職種が我々の職域に足を踏み入れてくる。例を挙げると、理学療法士に専門性を認めることが出来ないのか、学会認定による〇〇指導士なるものも幾つか誕生した。また、介護予防の領域でも〇〇運動指導士が以前から登場している。これらの内容は関連人材の研修を通して質の高いサービスを提供しようという発想かと思うが、見方を変えれば我々の専門領域を切り崩しているようにも見える。会員に〇〇医学会認定〇〇指導士を付加価値と思われるようでは、理学療法士のidentityの育て方を再考する必要もあろう。新たな生涯学習制度によって、認定・専門理学療法士で十分なところを示してもらいたい。

医療専門職における職域の境界は、力関係によって線引きされていく。その力とは職種の知識・技術に裏付けされた専門性、さらには政治的発言力も加わる。多くの医療職が生まれ、どの職種も必死でその境界線をせめぎ合い、診療報酬を奪い合っている。我々固有の専門性をしっかりと意識し、職域の拡大につながる成果を世に示し、主張することが大切である。さらには、理学療法士の代表を国会に送り、自分たちの声をはっきりと届けることも忘れてはならない。自分たちの職域は自らの力で守り、広げていかななくてはならない。誰も助けてはくれない。

No. 174

◆ 理学療法士のidentityと職域	1	◆ 日本理学療法士協会のアプリ公開	7
◆ 各部紹介	2	◆ 知読万恵	8
◆ 高知県代議員紹介	3	◆ 会員専用ページはもう確認しましたか？	8
◆ リレー紹介	4	◆ 生涯学習制度に関する質問受付	9
◆ 元吉明会員が表彰されました	5	◆ 施設紹介	10
◆ 令和4年度研修会スケジュール案内	5	◆ 賛助会員の皆様	11
◆ 第34回高知県理学療法学会の表彰	6	◆ 県協会50周年式典の案内	11
◆ 第34回高知県理学療法学会受賞者の声	6	◆ 編集後記	12
◆ 第35回高知県理学療法学会	7		

各 部 紹 介

【会員区活動部】

部長 金岡 寛起 (南国中央病院)

会員区活動部は、会員の連帯意識向上と研鑽機会の均等を目的として活動をしています。

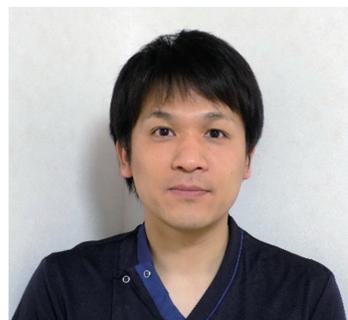
中央区域を除いた5つの区域より構成され、各会員区の区長や部員を中心に定期役員会(研修会の企画や情報交換)、研修会・症例発表会、会員交流会(懇親会)を開催しています。

研修会は各会員区で年2～3回のブロック研修会(県内講師)と、福祉部・学術部とそれぞれ年1回の合同研修会(県外講師)を開催しています。今年度より新生涯学習制度が開始となり、会員区活動部でも登録理学療法士ならびに認定・専門理学療法士の更新に必要なポイントが取得できる研修会や、後期研修の領域別研修(症例検討会、E1～E3を各1回)の開催を企画しています。

コロナ禍であり、対面での研修会参加や会員交流会が再開できるようになるにはしばらく時間がかかりますが、オンラインでの研修会開催が中心となった事で遠方の区域の研修会や他施設の症例検討会への参加が容易にできるようになりました。新生涯学習制度の開始に合わせて、会員の皆様には研修会や症例検討会へ積極的にご参加いただきたいと思います。

令和4年度の区長は、幡多区域:北川 了三 会員(四万十市立市民病院)、高幡区域:竹内 仁規 会員(ネオリゾートちひろ病院)、中央西区域:濱田 静香 会員(白菊園病院)、中央東区域:中川 圭子 会員(南国病院)、安芸区域:三谷 征也 会員(芸西オルソクリニック)となっています。

研修会の企画・運営に携わっていただける会員の方がいらっしゃいましたら、各会員区の区長までお気軽にご連絡をいただきたいと思います。



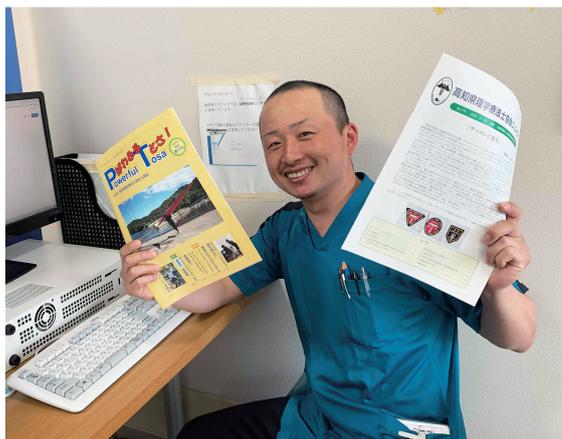
【広報部】

部長 濱尾 英史 (いずみの病院)

広報部では、県協会の広報誌である「高知県理学療法士協会ニュース」と「ばわふるとさ」の制作・編集作業を行っています。『協会ニュース』では会員の皆様に対して、会長・副会長のエッセーや研修会・学会情報、会員紹介などの各種情報をお届けしております。一方、『ばわふるとさ』では一般の方向けに、理学療法士という職種を知ってもらうべく情報を掲載しております。

また私たちは、高知県理学療法士協会のホームページの管理もしております。当ホームページには研修会や学会の案内、県協会の様々な取り組みを随時発信しております。昨年11月にはホームページをリニューアルしていますので、ぜひとも当ホームページにアクセスし、皆様の携帯電話やパソコンのブックマークに登録していただくと嬉しいです。

昨年度からは部員も増え、部員全員でいろいろな意見を出し合いながら会員の皆様楽しんで見ていただけるような広報誌作りにさらに力を入れております。また、今年度の取り組みとして、5月9日より当ホームページにて会員専用ページの運用を開始し、順次、配送資料のペーパーレス化を進めて参ります。さらに日本理学療法士協会の「会員マイページ専用アプリ」のリリースに伴って、県協会の各種情報をプッシュ通知にてお知らせするように準備を進めております。新生涯学習制度もスタートし、会員の皆様は今まで以上に研修会や学会などの情報収集が重要になってくると思います。できるだけフレッシュな情報を届けて参りますので、ぜひとも活用していただくと幸いです。



【財務部】

部長 谷脇 弘将 (医療法人野並会 高知病院)

日頃は高知県理学療法士協会の活動に際し、ご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

「財務部の役割」を一言で表しますと、『県協会の金庫番』です。これは前任であり現財務担当理事の西村先生及びその前任の織田先生から受け継がれている言葉です。まさか自分がそんな重役を担うとは…

本題の財務部仕事内容を簡単ではありますが紹介させていただきます。財務部は私と西村理事を含め5名で活動しています。次年度までに各部の予算要求をまとめ、三役会（会長・副会長・事務局長）で予算決定し、その予算に応じて各部に活動費を配分しています。

現在、財務部を含め県協会には11の部が存在し、会員区の5区域、総務部の事務室を入れ財布の数が17個あり、各部（区域）会計担当者がそれぞれ会計帳簿を作成しています。中間監査を経て、年度末に活動残金、領収書や帳簿内容を確認し、決算報告を実施します。全ての部（区域）の決算時出納帳を基に、PCA公益法人会計ソフトなるものへその全容を打ち込み、全ての部（区域）の残金が“0”となれば完了となります（この作業がなかなか厄介で… 上記写真が打ち込み作業を行っている様子。今年は完了時、西村理事とハイタッチを交わしました笑）。

加えて、県協会は公益社団法人として活動しており、高知県医療政策課に予算書・決算報告書の提出を実施しています。

新たな活動として、今年度よりネットバンキング（インターネットを介した銀行の取引サービス）を活用し、役員及び各部員への会議費・交通費の支払いや各部（区域）への活動費の送金等、効率的に行えるよう開設を行い、より明瞭な会計作業の遂行を行えるようになりました。

以上、簡単ではありますが財務部の活動内容紹介とさせていただきます。

最後に、少しでも財務部活動に興味がある方は是非、部会において下さいませ。毎月第3もしくは第4水曜日の18時頃より高知県理学療法士協会事務室にて部会を開催しています。管理部門として高知県理学療法士協会を支えていく活動は大変ではありますが、非常にやりがいがあり、また“管理”という、臨床とは違った観点で勉強することができますよ。



(公社) 日本理学療法士協会 代議員選挙結果のお知らせ

(公社) 日本理学療法士協会2021年度代議員選挙の結果、高知県選出として以下の4名の当選が報告されましたのでお知らせします。



宮本 謙三 会員
(土佐リハビリテーションカレッジ)



小笠原 正 会員
(近森リハビリテーション病院)



大畑 剛 会員
(愛宕病院)



八坂 一彦 会員
(高知医療学院)

会員紹介

高知生協病院 井上 大志

初めまして、高知生協病院の花岡里菜さんからバトンを受け取りました井上大志と申します。私は花岡さんと同じ高知生協病院で勤務している6年目の理学療法士です。これまでは病棟での勤務が中心でしたが、去年は訪問リハビリにも勤務させていただき、在宅部門との連携の重要性を改めて感じさせられました。

プライベートではこれまでの趣味である旅行や外食が制限されたので、新たな趣味の開拓をしました。元々食べる事が好きなので料理を試みましたが、面倒くさがり屋の私は続きませんでした。しかし「美味しいものが食べたい、なんだったら健康を害さず美味しいものが、、、」と考えた私は低温調理という物にたどり着きました。ネットショッピングで低温調理器を購入し、今では毎週使用しています。使い方も簡単で、セットすればほったらかしでいいのでとても楽です。低温調理はタンパク質が硬くなりやすく、栄養素を逃しにくいそうです。写真は低温調理器で作ったローストビーフです。パサパサにならず美味しくできました。他にはサラダチキンや温泉卵などがおすすめです。興味がある方は是非やってみてください。以上、簡単ではございますが自己紹介とさせていただきます。最後まで読んでいただきありがとうございます。次は介護老人福祉施設 夢の里で勤務している伊賀瀬愛さんにバトンを渡したいと思います。よろしくお祈りします。



高知県立あき総合病院 栗山 安広

みなさん、はじめまして。高知リハ時代から尊敬してやまない高知医療センターの西森大地さんから紹介を受けました、高知県立あき総合病院の栗山安広と申します。高知リハビリテーション学院卒の12年目の言語聴覚士です。間違えました理学療法士です。

我が家には女子(妻1人、女兒3人)がおります。毎年3月3日前後は大変でして、お雛様の準備、片づけには苦労しています。しかし親として毎年ひな祭りをするたびに、子ども達が元気で保育園や小学校に行き、日々成長してくれていることに幸せを感じています。世界では戦争が起り悲惨な報道が流れる中、このように幸せを感じられることは素晴らしいことだと思っております。

依然新型コロナウイルス感染症の状況は変わらず、そろそろリモート学会・研修会に飽きている私がおります。県外の学会や研修会にも行きたいですし、会食にも行きたくなっています。医療職だけでなく、いろいろな仕事の方が新型コロナウイルス感染症によりストレスや影響を受けています。飲食店もその一つで、妻の実家が経営している店(とさを商店)も打撃を受けました。そんな中、とさを商店が提供している『中日そば』が文化庁の「未来の100年フード」に選ばれました。私の名前や「この記事を見て食べに来ました」といっても特典はありませんが、よかったら一度食べてみてください。私も理学療法士として『理学療法』を100年先に伝えられる一人に成れるよう、今後も自己研鑽を積んでいきたいと思っています。

次は、私が理学療法士として尊敬している白菊園病院の明神路さんにバトンタッチさせていただきます。それでは明神路さんよろしくお祈りいたします。



※バトンを引き受けた会員の皆様は、**令和4年7月15日**までにkouhou@kopta.netまで原稿をお送りください。

元吉明会員、「医療功労賞」受賞 おめでとうございます。

副会長 小笠原 正

この度、高知県理学療法士協会会員の元吉明会員が、「第50回医療功労賞」を受賞されました。この賞は山間部や離島、発展途上国など厳しい環境のもとで長年、地域に密着した活動を行ってきた医療従事者もしくは、障害を持った方や難病者の支えとなる活動を行っている医療・福祉・介護分野の関係者を表彰するもので、元吉会員は全国で10名選出される中央表彰者として表彰されました。

元吉会員は、高知リハビリテーション学院を卒業後、「高知県立小鹿園」現在の高知県立療育福祉センターで勤務されたのち、1995年から高知県立安芸病院に移動され、病院での業務のかたわら、高齢者の介護予防事業などにも関わっておられました。また、ギターを片手に自ら作った歌を歌いながら、ご本人考案の「元気体操」を地域に広め、健康増進や転倒予防にも貢献され、行政とともに地域に密着した活動を行ってこられました。今回の受賞はそのような元吉会員の長年にわたる地道な地域活動が認められた結果であると思います。

元吉会員の「第50回医療功労賞」受賞をお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍をお祈りいたします。



(読売新聞 2022年3月20日記事から転載)

令和4年度 学会・研修会予定表 (令和4年6月～令和4年9月)

日程	事業内容	主催
令和4年7月3日(日)	第1回定期研修会	学術部
令和4年7月14日(木)～	理学療法週間イベント	保健部
令和4年7月31日(日)	第1回教育部研修会 脳卒中	教育部
令和4年8月21日(日)	第2回教育部研修会 運動器	教育部
令和4年8～9月 開催予定	研修会 (各区域)	会員区活動部
令和4年8～9月 開催予定	テーピング研修会	保健部
令和4年9月10日(土)	第3回教育部研修会 呼吸	教育部
令和4年9月 開催予定	管理者ネットワーク研修会	職能部

高知県理学療法学会学会長賞の授与

コロナ禍における遠隔授業の満足度に関する因子
～質問紙調査法を用いた横断研究～
土佐リハビリテーションカレッジ 渡邊家泰 会員

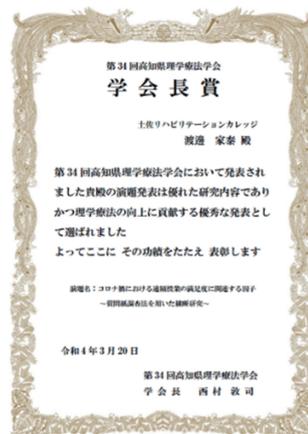
○学会長賞の選定について

第34回高知県理学療法学会 学会長 西村 敦司

学会のテーマに合致した演題であり、コロナ禍で学校教育現場も大きく変化を求められた中、いち早く学生の満足度に着目した点に感銘を受けました。

我々臨床側も学生のニーズに応え、実習場を提供するにあたり本演題がその一助となると考えました。今回の研鑽と努力をたたえ、ここに表彰させていただきます。

この度はおめでとうございます。



○学会長賞を受賞して

土佐リハビリテーションカレッジ 渡邊 家泰

この度は光栄な賞にご選出いただきまして誠にありがとうございました。ご指導いただきました共同演者の方々や、査読や選考に携わった全ての方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。

本研究はCOVID-19の影響により全国で初めての緊急事態宣言が発令され、その後休校が解除された頃の調査でした。複数の遠隔ツールを授業に取り入れたと同時に、学生の反応（満足度）とそこから見える新たな課題を改善する必要があるだろうと感じていたことが本研究の動機でした。遠隔ツールは一手段であり目的はさらなる教育成果の向上であるため、手段に拘らずに模索し続けたいと思います。

今回の受賞を励みに、より一層学生教育に精進して参りたいと思います。



コルセット・装具・義足・義手・杖

宮本義肢製作所

(社) 日本義肢協会 登録番号 中四国 143

代表者 門 脇 伸 仁

高知市土居町11-15 TEL & FAX (088) 8 3 3 - 6 8 6 4

第35回高知県理学療法学会 開催報告

第35回高知県理学療法学会 学会長 稲岡 忠勝

令和4年3月20日（日）に第35回高知県理学療法学会が開催されました。テーマを「科学と経験を融合した理学療法～日常診療から得られるヒントを日常診療に活かす～」とし、理学療法を自然科学的視点で経験することを再認識し、日々の臨床に継続的に役立てていけるよう企画しました。そのような趣意のもと、特別講演には高知リハビリテーション専門職大学教授の 辻 博明(つじ ひろあき)先生をお招きし、参加者に興味を持ってもらえるような話題・内容で講演いただきました。先生は誰もが日常で気づく様々な問題をご専門である工学の知識、そしてご自身の経験を絶妙に融合させ研究されている方ですので、今回は実際に日常我々が見過ごしている、あるいは気づいていても切り口がわからない問題例について多くの話題を提示しておられました。これを機会に新しい思考過程や気づきの入り口の発見をされた参加者もおられるのではないのでしょうか？日常を常に当たり前だと思わず、常に発見を繰り返すことこそが、理学療法をさらに発展させるために重要であると再認識していただけたのであれば幸いに存じます。

また、一般演題については22題と多くの応募をいただき、発表にあたっては活発な意見の交換も見られ、無事盛会に終わりました。

本学会は当初、開催方法として特別講演のみを対面とするハイブリッド開催を予定しておりましたが、開催日程が近づくにつれ、新型コロナウイルス感染症の拡大状況が思わしくなく、やむなく完全オンライン開催となりました。年度末の忙しい時期でしたが207名と多くの方にご参加いただきました。ありがとうございました。

最後になりましたが、学会運営に大きく尽力いただいた学術部の皆様、多くのことを文句ひとつも言わず、準備してくれた柏 準備委員長に感謝をいたします。ありがとうございました。



前列中央右：稲岡学会長 前列中央左：柏準備委員長

各種手続きや研修会の参加受付がもっと便利に！



日本理学療法士協会メンバーアプリ

Japanese Physical Therapy Association

マイページへの
オートログイン

QRコード読取機能
による研修会参加受付

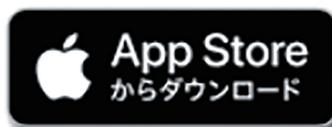
協会からのお知らせを
プッシュ通知で受信

5月16日に「日本理学療法協会メンバーアプリ（JPTAアプリ）」を公開しました。

JPTAアプリでは、マイページに自動的にログインし各種手続きができるようになる他、専用のQR読取り機能を使って、研修会の参加受付ができます。また、日本理学療法士協会や高知県理学療法士協会からの大切なお知らせがプッシュ通知で届くようになります。

ぜひ、App Store、Google Playよりインストールしてください。

ダウンロードはこちらから





白人侵略

最後の獲物は日本

〈三谷郁也著，ハート出版，2021〉

ロシアのウクライナ軍事侵攻は、もう4か月にもわたり、終わりの見えない戦争の様相を呈している。マスコミでは、領土拡大はプーチンの「野心」と書き立てているが、これはスターリンやレーニンから引き継がれた歴代のソビエト共産党の執念、あるいは民族の怨念、と言えるものである。

本著は、奴隷市場の時代から第二次世界大戦直前までの、世界の覇権主義国家の興亡を史実で綴ってある。読めば、他国あるいは他民族にたいして、「倒すか倒されるか」の戦いをして、侵略を進めることは、世界歴史の常識であることが分かる。たまたま、この数十年間は、大戦争がなかっただけのことなのだ。

日本は隣国との国境は海を隔てているため外国からの侵略の危機はあまりなく、また日本人特有の「和」の精神から、国民意識としては自国の領土についてはほぼ無関心である。しかしウクライナの現状を知るにつけ日本でも、ロシアが北海道へ中国が沖縄へ、いつ攻め込まれてくるかもしれない脅威に現実味を覚えてしまう。**【新版】国土が日本人の謎を解く〈大石久和著，産経セレクト，2022〉**には、この国民意識の危うさが指摘されている。

特に陸続きの国家では民族問題も絡まって、主権の統一はすんなりとは解決されないものではあるが、日本としては習近平の野心を挫き野望を断つためにも、日本はNATOへの軍事力加勢も考えないと…。ただし、第一次世界大戦の轍を教訓にして!?

(山本双一)

会員専用ページはもう確認しましたか？

① 『会員専用ページ』 バナーよりアクセス



② ログイン情報を入力



—ログイン情報—

ユーザー名：会員番号（8桁）

パスワード：4月発送の案内文書に記載しておりますのでご確認ください。確認手段の無い方は kouhou@kopta.net までお問合せください。



高知県理学療法士協会 HP

新生涯学習制度に関する質問を受け付けます！

教育部 高芝 潤
広報部 濱尾 英史

2022年度4月より新生涯学習制度が開始となっています。会員の皆様におかれましても、疑問に思われる点がまだまだ多い状況ではないかと思えます。

そこで教育部・広報部では、皆様の各種疑問にお答えできるよう質問受付の場を設置することといたしました。下記質問フォームよりご質問を受け付けますのでご利用下さい。

回答は、高知県理学療法士協会HPと高知県理学療法士協会ニュースに掲載させていただきます。



新生涯学習制度について ご質問はこちら



<https://forms.gle/Hxfu3pEiFX4dDTg6>

Q&A

Q1：カリキュラムコードについて教えてください。一度受講したカリキュラムコードを別の研修会で受講してもポイントにならないのですか？

A1：カリキュラムコードに準じたポイントは加算・上書きはできません。

Q2：県協会の広報誌で記事を執筆したのですが、ポイント取得の申請はできますか？記事が発行されてからの申請になりますか？

A2：県協会広報部での申請が必要となります。登録は記事の発行後となります。

Q3：私は登録理学療法士です。自己研鑽のために前期研修のeラーニングを受講することは可能でしょうか？

A3：更新のためのポイントにはなりませんを受講可能です。

Q4：研修会の費用を教えてください。

A4：前期研修は一律無料、後期研修以降の研修会は無料と有料の場合があります。研修会主催者に確認ください。

Q5：4年目の理学療法士（新プロ修了）です。前・後期研修の取得すべき単位を1年間で取得した場合、すぐに登録理学療法士になれますか？

A5：それぞれ最短履修期間が定められており、修了には前期研修は2年、後期研修は3年の期間が必要となり、期間内の修了は認められません。

参考：公益社団法人日本理学療法士協会。「登録理学療法士更新について」
<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/registered/>



施設紹介**医療法人 地塩会 南国中央病院**

南国中央病院リハビリテーション課課長 倉持 裕之
通所リハビリテーション係係長 川上 友也
訪問リハビリテーション係係長 白石 雅和

南国中央病院は、「地域に根ざした利用者様中心の医療と福祉の実践」を理念に総病床数99床（一般病棟26床、地域包括ケア病棟19床、回復期リハビリテーション病棟54床）を有する救急病院です。リハビリ職員は、PT40名、OT23名、ST9名の計72名が所属しております。また系列の2つの介護老人保健施設には、合わせて17名のリハビリ職員を配置しております。当院は、医療保険分野のみならず、訪問リハビリテーション、短時間の通所リハビリテーションなど介護保険分野にも力を入れており、早期から退院後の生活を見据えたリハビリテーションを行う回復期リハビリテーションを中心に、在宅復帰後も手厚くりハビリテーションサービスの提供が行える体制となっております。今回は、現在力を入れている介護保険分野の通所リハビリテーション・訪問リハビリテーションについて詳しくご紹介させていただきます。

通所リハビリテーションは、食事や入浴サービスのない半日利用型（1.5時間～3.5時間）でリハビリ特化型デイケアとして運営しております。8名のリハビリ職員（PT5名、OT3名、必要時ST1名）を配置し、ご利用者様一人一人へご利用毎に個別リハビリテーションの提供を実施しています。その他に、利用者様の生活機能の向上を実現する為に、リハビリマネジメント加算を算定し、定期的に関係者会議を開催し、各サービス関係者と情報共有を図り、利用者様毎に解決すべき課題を把握し改善に係る目標を設定しています。利用者様に対し専門的な観点から、自立した生活や家族様の介助量軽減に繋がることを目標としてサービスの提供を行なっています。

続いて訪問リハビリテーションでは、10名のリハビリ職員（PT7名、OT2名、ST1名）を配置し、各専門職が、利用者様の幅広いニーズにお応えできる体制となっております。利用者様の「やりたい」を「できる!!」に当事業所のスローガンとして掲げ、身体機能訓練を行うだけのリハビリテーションではなく、活動や参加に焦点を当て、在宅生活に生きがいを持ち生活していただけるよう目標を設定し、目標に合わせたリハビリテーションの提供を実施しています。また、地域のケアマネージャーと連携し、介護保険をお持ちでない方の困りごとに対し、各専門職が評価のために無料で訪問をさせていただくなど、地域貢献活動も実施しています。住み慣れた自宅・地域で生活が送れるよう地域に根差した活動が行えるよう日々業務を行なっています。

上記のように、南国中央病院リハビリテーション課では医療保険から介護保険まで幅広い期間のリハビリテーションを担う地域の中核病院となれるよう、若手中心の組織にはなりますが、日々リハビリ職員一同切磋琢磨しております。



白石 雅和

倉持 裕之

川上 友也

賛助会員の皆様

令和4年度賛助会員名簿

施設名	住所	診療科・他
(医)瑞洋会 田中整形外科病院	〒780-0901 高知県高知市上町3-2-6 TEL 088-822-7660 FAX 088-875-8583	整形外科、リハビリテーション科、麻酔科、 ペインクリニック内科、リウマチ科、内科(病棟)
(医)新松田会 高知医療学院	〒781-0270 高知市長浜6012-10 TEL 088-842-0412 FAX 088-841-1783	理学療法学科
(医)白菊会 白菊園病院	〒781-1154 土佐市新居萩の里1 TEL 088-856-1101 FAX 088-856-3364	内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、外科、 整形外科、脳神経外科、消化器外科、小児科、 リハビリテーション科
(医)仁智会 ヘルシーケアなはり	〒781-6402 高知県安芸郡奈半利町乙3740-1 TEL 088-738-5566 FAX 088-738-5564	入所、ショートステイ、通所(デイケア)
(学)土佐リハ学院 土佐リハビリテーションカレッジ	〒781-5103 高知市大津乙2500-2 TEL 088-866-6119 FAX 088-866-6120	理学療法学科・作業療法学科
(社医)仁生会 細木病院	〒780-8535 高知市大膳町37番地 TEL 088-822-7211 FAX 088-825-0909	総合診療科、内科、外科、整形外科、小児科、 耳鼻咽喉科、緩和ケア科、放射線科、泌尿器科、 脳神経センター(脳神経外科)、専門外来、セカンドオピニオン外来、病理診断科、麻酔科

高知県理学療法士協会50周年式典が執り行われます！

開催日：令和4年9月4日(日) 午後1時～午後4時

場所：ザクラウンパレス新阪急高知(3階・花の間)

※開催ならびにお申し込み方法の詳細につきましては、高知県理学療法士協会HPをご覧ください。





1987年3月29日、故松尾國城先生(左端)の厚生大臣表彰祝賀会での一コマ。
 当時は、存在感を放って幅を利かせていた、いまは亡き同朋の面々。右から、故酒井寿美
 会員、故山崎拓也会員、故沖廣剛会員。老輩には、懐かしく思い出されます。

(文と写真：山本双一)

*前号(173号)の写真の撮影場所は高知県立小鹿園訓練室(旧)でしたので、お詫びして訂正します。

編 集 後 記

今号のニュースの巻頭言では、宮本謙三会長より我々「理学療法士」という職業の専門性や職域について非常に啓発的な内容でご執筆をいただきました。編集を担当する私としましても、自分の職域は自分で守らなければならないという文章に強い危機感と身の引き締まる思いを感じました。同志である皆様にも、是非今回の巻頭言は噛みしめながら読んでいただけると幸いです。

また、今回より新しく「所属紹介」という記事をスタートしました。他施設の情報を知ることで自分たちの職場を振り返る良い機会にもなりますし、他施設でも取り入れてもらえるような独自の取り組みなどポツポツな内容はどんどん取り上げていきたいと考えていますので、どうぞ楽しみにお待ちください。

最後に、今号で紹介した「日本理学療法士協会のアプリ」や「高知県理学療法士協会HPの会員専用ページの開設」など、情報収集の電子媒体化も着実に進んでおります。会員の皆様も新しい情報にはアンテナを張って乗り遅れることがないようによろしくお願いいたします。(濱尾英史)

高知県理学療法士協会ニュース No.174 令和4年6月20日発行

発行所 公益社団法人 高知県理学療法士協会

〒780-0054 高知県高知市相生町1-25 レジデンスノナミ107号室

TEL & FAX (088) 879-8023

http://www.kopta.net e-mail:jimukyoku@kopta.net

発行者 宮本 謙三

広報部編集委員会

